



MVPの山下を挟みベストセブンに輝いた荒瀬(左)と風呂内

◆メイプル男子優勝メンバー◆

GK	風呂内海渡	片山③	K
	花田諒斗	戸坂②	K
CP	廣本颯真	伴③	1
	荒瀬廉	戸坂③	29
	楠原颯馬	白岳②	3
	山崎迅翔	吳中央③	19
	阪田良太	通津③	12
	林原空翔	白岳③	18
	小澤誠介	向原③	12
	中本晴士	東原②	3
	大崎優太	向原②	0
C	山下倅輝	井口③	36
	品川隼汰	戸坂②	1
	岡田聖斗	戸坂②	0
	玖須寛人	東②	0
	柳井京	祇園東①	0
	越智遼介	戸坂①	0
	地藏堂一樹	江波②	0
	小野拓海	大朝②	0
	望月郁矢	阿品台②	0

(注) 丸数字は学年、Cは主将

メイプルジュニア 初の全国制覇

全国中学生クラブチームカップ

第8回全国中学生クラブチームカップは8月13日から3日間、堺市の金岡公園体育館などで開かれ、男子はメイプルジュニアが初の頂点に立った。小学生を含めメイプルジュニアの全国制覇は初めて。女子は大阪ジュニアクラブが5年連続7度目の優勝。

女子のメイプルジュニアは予選リーグ3位で、決勝トーナメント進出はならなかった。

男子のMVPには36得点を挙げた主将の山下倅輝が選ばれ、ベストセブンに荒瀬廉、風呂内海渡が入った。

男子 最高!



初優勝を飾り選手の手で胴上げされる河原監督

《メイプルジュニア戦いの跡》

【男子】

▽予選トーナメント1回戦

○34 (18-13、16-14) 27とびうめJr

▽同2回戦

○36 (15-9、21-15) 24諫早HC

▽準決勝

○35 (19-12、16-10) 22霧島クラブ

▽決勝

○29 (18-11、11-13) 24大阪RSC

【女子】

▽予選リーグ

●11 (8-22、3-19) 41とびうめJr

●7 (1-17、6-15) 32岐阜7beat

*順位 ③2敗

▽インターリーグゲーム

○12-10LHC静岡HS (25分1本)

★個人表彰★

・MVP 男子=山下倅輝(メイプルJr)▽女子=松山那優(大阪Jr)C

・ベストセブン 男子=荒瀬廉、風呂内海渡(以上メイプルJr)甲斐竜馬、北地翔哉(以上大阪RSC)辻要(ヴァルト岐阜)久木崎匠(霧島ク)前田一鷹(諫早HC)▽女子=田井麗美、廣本彩、小林実杜(以上大阪Jr)川島空来、篠原優和(以上霧島ク)庄司小夏(貝塚バレーズ)外口若奈(とびうめJr)

強いぞ中学生あっぱれ...思い出残る夏の熱い戦い

《中国中学校選手権》

【男子】

▽1回戦

修道30 (17-3、13-9) 12青陵

平田32 (14-3、18-11) 14境一東

通津30 (17-3、13-8) 11江津

倉敷南27 (11-11、16-12) 23下松

▽準々決勝

岐陽21 (11-2、10-6) 8修道

平田33 (16-13、17-16) 29総社西

通津27 (11-3、16-6) 9境二

甲田40 (23-10、17-16) 26倉敷南

▽準決勝

岐陽24 (13-8、11-12) 20平田

甲田30 (16-14、14-10) 24通津

▽決勝

甲田23 (12-12、11-8) 20岐陽

【女子】

▽1回戦

倉敷東24 (11-1、13-1) 2境三

平田46 (26-0、20-1) 1江津

末武24 (10-9、14-4) 13境二

岐陽19 (12-0、7-6) 6亀山

▽準々決勝

岩国23 (10-7、13-7) 14倉敷東

平田33 (16-12、17-10) 22甲田

末武23 (12-3、11-7) 10青陵

総社西15 (8-8、7-5) 13岐陽

▽準決勝

岩国21 (8-5、13-8) 13平田

末武24 (8-9、11-10) 2総社西

▽決勝

岩国26 (16-5、10-9) 14末武

甲田

17年ぶり中国王者

中国中学校選手権

第45回中国中学校選手権は8月5、6日にキリンビレッジ周南総合スポーツセンターで開かれ、男子で甲田が17年ぶり3度目の優勝を飾り、全国大会出場を決めた。女子は岩国が9年ぶり6度目の頂点に立った。

全国中学校大会

《全国中学校大会 甲田男子成績》

▽2回戦

○36 (15-7、21-16) 23東山(岐阜)

▽準々決勝

○32 (15-15、17-13) 28大体大浪商(大阪)

▽準決勝

○35 (16-15、19-16) 31松橋(熊本)

▽決勝

●15 (6-12、9-13) 25滝ノ水(愛知)

優秀選手に首藤、小先

◆甲田男子準優勝メンバー◆

得点	K
笹村拓斗③	17
C前川大樹③	14
大田義也③	14
首藤岳飛③	29
小先勇輝③	29
原田晋平③	14
姉ヶ山怜②	9
首藤颯汰②	5
中野駿介②	1
山本昂太①	0
奥田将吾①	0

(注) ○数字は学年 数字は合計得点

第46回全国中学校大会は8月18日から3日間、沖縄県立武道館などで開かれ、男子の中国王者・甲田が準優勝に輝いた。甲田は持ち味の攻撃力を武器に快進撃を続け決勝に進出、滝ノ水(愛知)と対決した。

昨年3月の春の全国中学生選手権Vの再現に期待がかったが、あと一歩及ばず力尽きた。

女子の優勝は原川(大分)で、男子の滝ノ水とともに初優勝。

優秀選手には、甲田からはともに4試合で29得点を挙げる活躍を見せた首藤岳飛、小先勇輝(いずれも3年)が選出された。

滝ノ水・原川が初V

甲田男子

春中再現あと一歩

全国V・準Vメンバー 負けるわけにはいかない

選抜も続いた

JOCジュニア五輪杯中国予選

競り合い制しこちらも17年ぶり



最終戦 山口に1点差逃げ切る

第26回JOCジュニアオリンピックカップ大会中国予選は8月26、27日にキリンビバレッジ周南スポーツセンターで行われ、男子の広島が17年ぶり3度目の優勝を遂げた。女子は山口、岡山の厚い壁を超えられず3位。男女1、2位が12月末に沖縄県浦添市での全国大会に出場する。

3連勝で迎えた最終戦では山口に1点差で競り勝ち、全勝を守った。本大会出場は4年連続6度目となった。

《JOCジュニアオリンピックカップ中国予選》

【男子リーグ】

広島30 (15-12, 15-13) 25岡山
鳥取28 (13-9, 15-12) 21島根
岡山22 (10-9, 12-12) 21山口
広島35 (17-8, 18-6) 14鳥取
山口53 (28-1, 25-3) 4島根
岡山47 (22-3, 25-3) 6島根
山口29 (17-3, 12-8) 11鳥取
広島42 (24-3, 18-3) 6島根
岡山33 (14-8, 19-5) 13鳥取
広島24 (14-14, 10-9) 23山口
*順位 ①広島4勝②岡山3勝1敗③山口2勝2敗④鳥取1勝3敗⑤島根4敗

【女子リーグ】

山口23 (12-4, 11-6) 10広島
岡山28 (14-4, 14-3) 7鳥取
広島20 (13-8, 7-8) 16島根
山口30 (14-7, 16-5) 12鳥取
岡山44 (20-6, 24-1) 7鳥根
岡山20 (9-4, 11-4) 8広島
鳥取31 (16-3, 15-12) 15島根
山口13 (7-5, 6-5) 10岡山
広島21 (9-9, 12-8) 17鳥取
山口40 (20-5, 20-1) 6島根
*順位 ①山口4勝②岡山3勝1敗③広島2勝2敗④鳥取1勝3敗⑤島根4敗

山口・岡山を崩せず3位



沖田、22得点も及ばず

◆女子メンバー◆

選手名	所属	得点
織田 愛弥③	己斐	K
C沖田 茉優③	甲田	22
宮本 乃杏③	甲田	0
小先 芹奈①	甲田	9
池元 千紜③	ミヅ	
田中 志織①	向原	7
岡村 優衣③	甲田	3
重本 悠宇②	亀山	8
日高 史由里③	甲田	9
倉岡 優実①	己斐	1
中村 碧衣①	上田	0
奥田 理子③	甲田	K
礪川 かえで①	亀山	0
渡部 琴美①	亀山	K
杉原 実咲③	己斐	0
井口 末結①	亀山	0

◆男子優勝メンバー◆

選手名	所属	得点
風呂内 海渡③	ミヅ	
林原 空翔③	片山	K
山下 倅輝③	白岳	8
阪田 良太③	井口	20
荒瀬 廉③	通津	11
姉ヶ山 怜②	戸坂	34
原田 晋平③	甲田	0
山崎 迅翔③	甲田	2
中野 駿介②	吳中央	8
首藤 颯汰②	甲田	3
小澤 誠介③	甲田	7
有田 光志③	向原	1
小先 勇輝③	修道	K
安東 慧③	甲田	25
C前川 大樹③	修道	2
笹村 拓斗③	甲田	10
(注) ○数字は得点、Cは主将		

《JHLジュニアリーグ西ブロック 安芸高田HCの成績》

【男子】

●18 (4-7, 6-16, 8-7) 30琉球コラソン Jr
○24 (7-6, 9-6, 8-4) 16BLUE SAKUYA Jr
○23 (11-1, 10-3, 2-10) 14トヨタ紡織 Jr
●11 (6-7, 4-5, 1-7) 19オムロン Jr
*順位 ③2勝2敗

【女子】

○16 (2-0, 7-4, 7-2) 6BLUE SAKUYA Jr
●9 (3-8, 4-10, 2-5) 23大阪ラヴィッツ Jr
○12 (1-3, 5-2, 6-1) 6オムロン Jr
○16 (3-7, 4-5, 9-3) 15トヨタ紡織 Jr
●8 (2-10, 5-12, 1-15) 37琉球コラソン Jr
*順位 ③3勝2敗

安芸高田 男女3位

JHLジュニアリーグ西ブロック

日本リーグ加盟チームの社会貢献と地域密着活動の一環として生まれたJHLジュニアリーグは7回目を迎え、8月11日から3日間、熊本県山鹿市総合体育館で開かれた。

男子は5チーム、女子は今季から日本リーグ参戦の大阪ラヴィッツが初参加、6チームでリーグ戦を戦った。安芸高田HCは男子が2勝2敗、女子は3勝2敗で、ともに3位となった。琉球コラソン Jr が男女優勝。メイブルレッズは不参加だった。

◆安芸高田HC◆

富野 井りま④ 甲立
生中 萌花⑤ 小田東
場正 めい⑤ 甲立
山本 結莉⑤ 甲立
片桐 華香⑤ 小田東
仁井 梨花⑤ 甲立
津田 藍⑤ 小田東
福原 美夢渚⑤ 甲立
大立 好音⑥ 甲立
C前川 奈々美⑥ 小田東
富野 井るあ⑥ 甲立
地戸 まおな⑤ 小田東

(注) ○数字は学年
Cは主将

◆呉ジュニアHC◆

太田 昂⑥ 荘山田
中元 温大⑥ 昭 and 北
藤元 瑞⑤ 荘山田
松岡 倅大⑤ 吳中央
土橋 迅⑤ 原
小山 永悟⑤ 荘山田
池田 庵二⑤ 荘山田
河上 陽大④ 昭 and 北
藤原 瑛大④ 昭 and 西
光山 瑛④ 荘山田
C河上 由都輝⑥ 昭 and 北
風呂内 蒼空④ 荘山田
佐藤 靖浩⑥ 昭 and 西
三登 大路⑥ 昭 and 北
田丸 陽翔⑥ 昭 and 北
木原 颯太郎⑤ 音戸
東 藍樹⑤ 白岳

第30回全国小学生大会は8月4日から3日間、京都府京田辺市田辺中央体育館などで開かれた。

2年連続2度目の出場となった男子の呉ジュニアHCは初戦で境港マリナーズを下し待望の全国1勝を挙げ、2回戦も愛媛ジュニアーズに快勝した。

昨年に続き7度目出場の女子・安芸高田HCは初戦(2回戦)でIDBスポーツに敗れ3回戦進出はならなかった。

呉ジュニア2勝

全国小学生大会

女子の安芸高田は初戦

《全国小学生大会》

【男子】=呉ジュニアHC

▽1回戦
○18 (5-4, 5-2, 8-3) 9境港マリナーズ
▽2回戦
○21 (8-3, 7-2, 6-5) 10愛媛ジュニアーズ
▽3回戦
●9 (1-4, 5-5, 3-5) 14笹川 HC
【女子】=安芸高田HC
▽2回戦
●9 (4-5, 2-6, 3-4) 15IDBスポーツ

《愛媛国体中国予選》

【成年男子】

▽リーグ戦

岡山 42 (23- 8、19- 8) 16 鳥取
山口 56 (28- 6、28- 5) 11 島根
岡山 30 (15-11、15-13) 24 山口
鳥取 33 (16-11、17-13) 24 島根
岡山 55 (26- 3、29- 6) 9 島根
山口 49 (23-16、26-11) 27 鳥取
* 順位 ①岡山3勝②山口2勝1敗③鳥取1勝2敗④島根3敗

▽順位決定戦

広島 38 (19-10、19- 7) 17 岡山

【成年女子】

▽1回戦

山口 42 (20- 4、22- 3) 7 島根
岡山 32 (16- 7、16- 5) 12 鳥取
▽2回戦

岡山 27 (15-12、12- 5) 17 山口

▽代表決定戦

広島 19 (10- 9、9 - 9) 18 岡山

【少年男子】

▽1回戦

岡山 40 (22- 5、18-11) 16 鳥取
▽2回戦

岡山 29 (14- 7、15-13) 20 広島

山口 35 (18-11、17-14) 25 島根

▽決勝

山口 43 (24-12、19-14) 26 岡山

【少年女子】

▽リーグ戦

山口 28 (14- 3、14-13) 16 岡山
鳥取 20 (11- 6、9 - 9) 15 島根
岡山 30 (16- 9、14-11) 20 広島
山口 44 (22- 5、22- 4) 9 鳥取
広島 36 (17- 8、19-11) 19 島根
岡山 38 (19- 5、19- 7) 12 鳥取
山口 45 (26- 3、19- 4) 7 島根
広島 42 (21-11、21- 8) 19 鳥取
岡山 49 (26- 2、23- 4) 6 島根
山口 29 (15-11、14-11) 22 広島

* 順位 ①山口4勝②岡山3勝1敗③広島2勝2敗④鳥取1勝3敗⑤島根4敗

10月に行われる愛媛国体中国予選は8月19、20日に呉オークアリーナで開かれた。

2枠出場できる成年男子と少年女子はリーグ戦、1枠の成年女子と少年男子はトーナメントで代表権を争った。

成年男女は湧永製薬とメイプルレッズが出場回数を更新し、本番での活躍に期待したい。

少年男女は男子が岡山に敗れ、女子は山口、岡山の厚い壁が立ち上がり3位となり出場を逃した。

今年も湧永・メイプル
来月の愛媛国体

山陽

女子は初戦敗退

全初の1男子勝子

▽男子1回戦

○20 (10-10、10- 8) 18法隆寺国際

▽同2回戦

●19 (5 -12、14-19) 31 不来方

▽女子2回戦

●21 (11- 9、10-15) 24小松市立

インターハイは8月5日から6日間、福島県営あづま総合体育館などで開かれ、男子の山陽が初出場であらしい1勝を挙げた。競り合いを制し2点差。2年連続の女子は初戦の2回戦で小松市女に逆転負けした。



◆山陽メンバー◆

〈男子〉

広上 永遠②
山下 由聖②
C久村 孝太③
山下 凌矢③
塚田 隼丞③
大野 凌①
福原 隼佑③
河野 想大①
岡野 陽介③
有松 治人①
塩田 英太郎②
岡向 天空①
駒井 翔太③
森野 亮①

〈女子〉

大段 真櫻②
川口 華代③
山本 遙香③
C角森 彩③
島 遥奈②
塩田 成未②
高田 華世②
森田 優月②
磯川 さくら①
小玉 幸采①
長崎 楓①
新井 梨奈②
土居 侑加②
倉岡 愛実①

日垣 翔太③ 風呂内 萌々②
引尻 優介② 内藤 南①

監督「もう1勝…」 初出場で白星の佐々木監督は「本当によかった」と笑顔を見せながらも「もうひとつ勝つつもりだったんですがね」と目標に届かなかったことを悔やんだが、夢を来年に繋ぐ。

県高校1年生大会→

【男子】リーグ戦

廿日市 4 - 6 城北	廿日市 12 - 8 如水館	廿日市 9 - 11 呉工
廿日市 6 - 13 呉港	廿日市 5 - 14 三津田	廿日市 2 - 19 広島
宮島工 5 - 11 西条農	宮島工 7 - 7 如水館	宮島工 5 - 10 呉工
宮島工 7 - 9 呉港	宮島工 5 - 15 三津田	宮島工 8 - 22 広島
城北 5 - 6 如水館	城北 4 - 14 呉工	城北 4 - 11 呉港
城北 1 - 13 三津田	城北 2 - 18 広島	祇園北 3 - 7 賀茂
祇園北 7 - 9 如水館	祇園北 7 - 14 呉工	祇園北 4 - 11 呉港
祇園北 2 - 5 三津田	祇園北 3 - 12 広島	賀茂 7 - 5 如水館
賀茂 11 - 8 呉工	賀茂 9 - 9 呉港	賀茂 12 - 11 三津田
賀茂 6 - 12 広島	西条農 8 - 4 如水館	西条農 7 - 11 呉工
西条農 7 - 6 呉港	西条農 9 - 9 三津田	西条農 8 - 13 広島

* 順位 (暫定) ①広島6勝②呉工5勝1敗③三津田4勝1分1敗④呉港4勝1分1敗⑤賀茂4勝1分1敗⑥西条農3勝1分2敗⑦如水館1勝1分4敗⑧祇園北1勝5敗⑨廿日市1勝5敗⑩城北1勝5敗⑪宮島工1分5敗 (3-5位と8-10位は得失点差による)

【女子】リーグ戦

合同 4 - 3 賀茂	合同 2 - 4 賀茂	合同 3 - 8 祇園北
合同 1 - 6 祇園北	賀茂 2 - 5 祇園北	賀茂 4 - 5 祇園北

* 順位 ①祇園北4勝②賀茂1勝3敗③合同1勝3敗 (2、3位は得失点差による)

(注) 合同は三津田と清水ヶ丘の合同チーム

来季へ腕試し

県高校1年生大会は8月3日、呉オークアリーナで開かれた。インターハイ出場の山陽やチーム事情で5校が不参加だったが、新しいシーズンでのプレーを視野に入れ、はつらつプレーが続いた。女子は祇園北が4戦全勝で楽しみを膨らませた。

《ジャパンオープントーナメント》

【男子】

▽1回戦

○31 (19- 8、12-10) 18チーム楽南(秋田)

▽2回戦

●18 (11-18、7 -18) 36HC和歌山

日新製鋼、8強ならず ジャパンオープン

第22回ジャパンオープントーナメントは福井国体プレ大会として8月5日から4日間、北陸電力福井体育館フレアなどで開かれた。

日新製鋼は初戦はチーム楽南(秋田)に快勝したが、2回戦では3連覇を達成したHC和歌山と顔が合い、前半から大差をつけられ、8強入りはならなかった。

男子はHC和歌山、女子は香川銀行T・Hが優勝した。

★瀬戸内レディース1勝2敗 全日本マスターズは8月11日から3日間、豊田スカイホールなどで開かれた。交流型の瀬戸内レディースは4チームでリーグ戦を戦い、1勝2敗だった。



▽湧永製薬

●24 (8 -14、16-16) 30大崎電気

▽メイプルレッズ

○28 (16-13、12-13) 26三車

★今月は16日 中区SCで2試合

湧永製薬 vs 琉球 13:00

メイプル vs HC名古屋 15:00

日本リーグ

メイプル白星発進 湧永は大崎崩せず

日本リーグは8月26日開幕。湧永製薬は3年連続で大崎電気と対戦、前半の失点が大きく響き、後半の猛追も及ばなかった。

地元・中区スポーツセンターに三重を迎えたメイプルレッズは2年続けて同じカード。昨年は完敗したが今回は競り勝って白星スタートを飾った。

李 美京が最多の10ゴール

昨年終盤に加入、プレーオフでオムロンを下して2位になった立役者李美京が最多の10得点で勝利を引き寄せた。開始早々リードを許したが、ここから独り舞台。速攻、カットイン、ミドルで逆転。韓国代表の実力を存分に見せつけた。